

ちょっとおつまみ アーバンファーマーミング

第1回
ワークショップ
イベント

2024年7月28日、ナカセンバカフェにて都市の農(アーバンファーマーミング)を考えるワークショップを開催しました。



アーバンファーマーミングは世界のトレンドなんだ!

親子で楽しめる農園ができるといいな

新保講師による講演会

兵庫県立大学准教授の新保先生に世界と日本のアーバンファーマーミングの事例を紹介していただきました。都市周縁部の農家を取り巻く状況について教わり、これから作っていく「(仮称)なかせんば農園」のルール作りの重要性について事例とともに学びました。「楽しむことが基本」「無理をしない・義務化しない」「多様な思いを受け入れる」など、参加者の主体性を尊重しつつ、自由度の高い参加の枠組みを作っていくことが大切だと学びました。

現地見学

辰野株式会社岡本さんの案内で農園予定地の見学をしました。交通量の多い車道に面しながら、隣には公園があるという特徴的な立地に、グループワークを始める前から様々なアイデアが参加者から出されました。



シェフィールドキムラート木村シェフ特製ソースで大阪産野菜(大阪産直センター)を味わいながらグループワークのスタートです。

おつまみ野菜



大阪でこんなに美味しい野菜が取れるなんて知らなかった!

わいわいワークショップ

4つのグループに分かれて、「(仮称)なかせんば農園」がどんな場所になれば良いかアイデアを出し合うグループワークを行いました。農地や野菜に身近に触れられる楽しさを共有しつつ、農作物の安全性や管理の仕組みなど、これから直面するであろう具体的な課題にまで議論が及び、どのグループも時間いっぱいまで

議論が白熱しました。2階建てやアーケード型、壁で育てる手法など、これから進める農園デザインに関しても貴重なアイデアが集まり、参加者それぞれのイメージがどんどん膨らんでいきました。

わくわくするアイデアがたくさん!一つでも多く実現したい!



未来の農園発表

それぞれのグループワークの成果を発表しました。各グループ模造紙いっぱいにはられた付箋から、少しでも多くのアイデアを共有しようと必死のプレゼンが続きました。プレゼンの中で農園の名前についても各チームからアイデアが出され、グループごとのカラーが出た名前アイデアが集まりました。

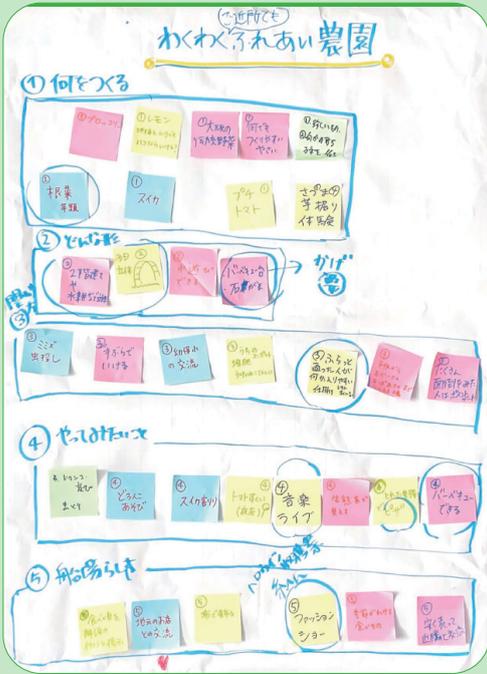


代表 運営
辰野株式会社
農園検討委員会
(仮称)なかせんば

場所
大阪府大阪市中央区久太郎町3丁目
今後の予定
2024/09/25(水)
cotton workshop



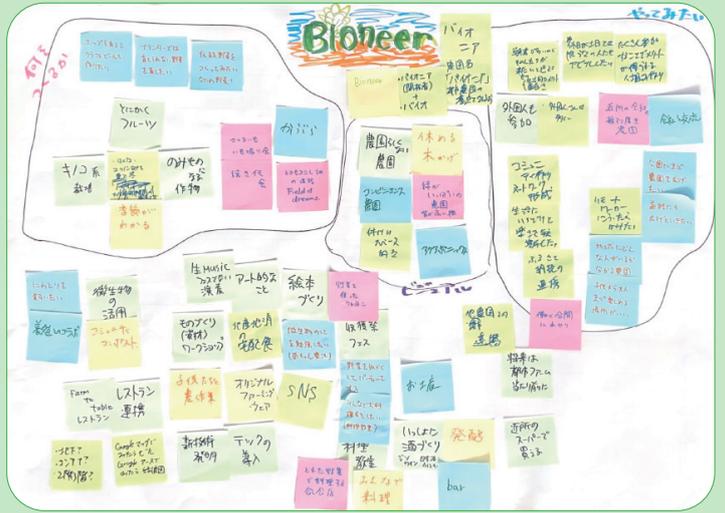
A: ご近所ともわくわくふれあい農園



土地面積が限られているので、2階建てや水耕栽培、アーケード型などの立体的な栽培方法を検討してみたい。
 イベントを行うための日影が欲しい。
 ハロウィン収穫祭と時期を合わせた音楽ライブ。

土栽培ならではの根菜や芋類を育てたい。
 土栽培ならではの根菜や芋類を育てたい。
 さらっと通った人が入りやすい、参加しやすい仕掛け作りが重要。
 メンバーが固定されないような工夫が必要。
 船場らしさを育てるため、布による装飾や農園でのファッションショーを企画してはどうか。
 食べごろを解説したイラストを掲示。
 子供から高齢者までが憩える場所。
 虫取りや泥んこ遊び、

B: Bioneer



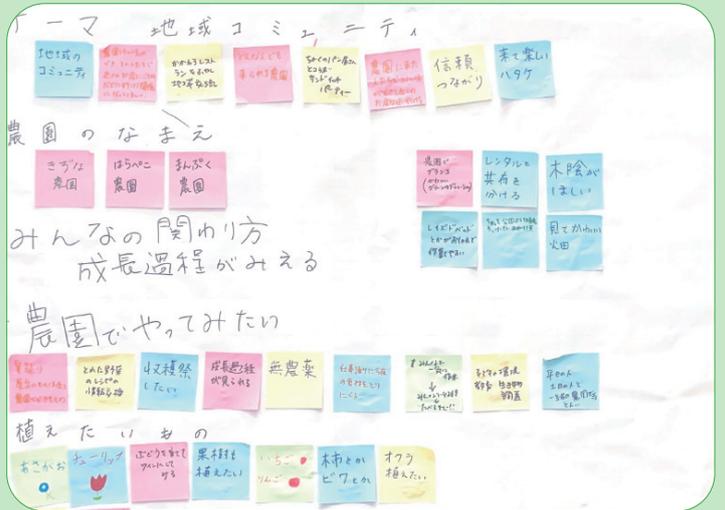
開拓者精神とバイオを掛け合わせて Bioneer と名付けた。
 農園らしくない農園を作りたい。
 近辺の会社が福利厚生や企業間交流などに利用してもらえようような仕組みを作ってみようか。
 動物や微生物などとのコラボ。
 老若男女が楽しめる場所。
 地下や2、3階を設けて、立体的な農園にしてはどうか。
 音楽やアートと組み合わせた収穫祭をしてみたい。
 たくさん参加することでメリットが得られる仕組み作り。
 ホップを育てて、クラフトビール作ったり、果樹などの飲み物にもなる農作物を作って加工もしてみたい。

C: チェーリングファーム



一人一人が農園との関わりを広げて行ける場所としたい。
 季節ごとの花も育ててみたい。
 落花生やお芋など、引き抜けるものは収穫も楽しい。
 農園で栽培した野菜を近隣のお店やいろいろな場所で活用してもらおう。
 農園×車、農園×バッグ、農園×カー等持ち運べる農園。
 ゴーヤのカーテンを作って涼しくしたい。
 子供達でも育てられる簡単なものから始めてみるかどうか。
 農園に集まる人たちの協力で豊かな関係性が生まれるような農園にしたい。「もしも」の時も、「いつも」のときも助け合う場所とし「防災力」が育まれる農園としたい。

D: きずな農園



関わるレストランを増やして、地域交流を進めたい。
 近くのパン屋さんとかコラボし、農園の収穫物でサンドウィッチパーティーをしてみたい。
 木陰が欲しい。
 全部農園で収穫したもので屋台を出して、夏祭りをしてみたい。
 収穫祭をしてみたい。
 「きずな農園」「はらぺこ農園」「まぶく農園」などたくさんさんの名前のアイデアが出た。
 収穫野菜を使った料理レシピの情報交換ができれば交流が深まるのでは。
 仕事帰りに今夜の野菜をとりに来るようなライフスタイルを提案したい。